

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

経営工学系では、次のような能力を修得することを目指す。

- ・問題を発見する洞察力と、その解決のために適切な方法を探すことのできる力
- ・問題を解決し、マネジメントする力
- ・経営活動を構成する諸活動の理解と、そこでの問題を解決するための知識と視点
- ・経済学の原理と手法を用いて、現実の社会問題に取り組む能力
- ・人間性尊重と倫理観に根付いた問題解決力
- ・コミュニケーション力とリーダーシップ

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 経営工学・経済学分野の専門基礎学修**
経営工学・経済学のための基礎数学，確率・統計，プログラミングなどの問題解決の基盤となる理工系技法および経営工学・経済学の基礎知識の学修
- B) 経営工学・経済学の応用学修**
経営活動を構成する諸活動の理解と，そこでの問題を解決するための知識と視点を学修し，経済学の原理と手法を用いて，現実の社会問題に取り組む能力を修得する。
- C) 広い視野を養い，主体的に進める学修**
研究プロジェクトや演習等を通じて経営工学・経済学で扱う現実の問題を見出し，これに主体的に取り組み，最適な解決策を案出して，実社会で実現する能力を修得する。これにより，自ら課題を探し，これに取り組むことで問題を解決し，マネジメントする力を修得する。経営・経済問題を発見する洞察力と，その解決に適切な方法を探すことのできる力を養う。
- D) 社会との関わりを体験する学修**
社会で活躍する講師陣らによる，専門科目を通しての体験学習，技術者倫理，人間性尊重と倫理観に根付いた問題解決力を修得する。
- E) コミュニケーション能力の強化学修**
学士特定課題研究の論文作成に要求される文書化力の修得，少人数のゼミナール形式やグループワークで仲間と協力することを通じて，コミュニケーション力とリーダーシップの養成学修

アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

工学院学士課程では、人々の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人
- ・柔軟な発想と多角的な視点を持ち、専門・文化・環境などの異なる多様な人々と協働して人類と社会の発展に貢献しようとする人

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- ・経営工学を通して人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために、経営工学と、それに関連する分野を積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・経営工学を学ぶために、数学を中心とする基礎学力を身につけ、社会問題にも強い関心をもつ人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【総合型選抜】《工学院》

- ・一般枠：（面接）これまでに受けた授業や自主的な学習、国際経験等を通して最も興味を持った理数系トピックを踏まえ、工学院で学びたいことを含めた志望動機、並びに与えられた物理や数学（数学Ⅲを含む）のテーマに関して、論理的かつ明快に説明する能力を評価します。
- ・女子枠：（面接）ダイバーシティ社会に貢献するために工学院で学びたいこと、及び自身の将来像を踏まえた志望動機、並びに与えられた物理や数学（数学Ⅲを含む）のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価します。